

一般質問

ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の事務事業等の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。

高齢者が 安心して暮らせる町へ！



質問者
利根川 茂 議員

本山町長、町長職に就任され、この9月で1年経ちました。そこで、昨年の選挙公約である「高齢者が安心して暮らせる町」の中で、次の質問を行います。

① 買い物困難者である人々のために、ミニ・スーパーの開設や巡回型スーパーの導入はいつ頃になるのか。

② 歩道やポケット・パーク、公衆トイレを整備して、歩いて買い物ができる町づくりは、どの程度計画が進んでいるのか。

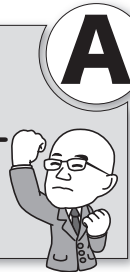
③ 1人暮らしでも安心して暮らせる仕組みづくりは、どのくらい進んでいるのか。

以上のとおり質問します。

す。町長の見通しをお示し下さい。

福祉・防災を 絡めた ミニ・スーパー 開設を検討!

回答 (町長)



① ミニ・スーパーの経営者を探している。空き店舗や倉庫を活用したミニ・スーパーができないか、空き店舗対策補助金や金融機関との連携等を通じて、継続的に支援していきたい。

② どの計画にしても、関連性を持つものとして仮称・「松田町やすらぎ

上水道事業の 経営状況を問う



質問者
中野 博 議員

歩行空間整備計画」として、調査・検討を進めていく。

③ 生活・介護支援サポート事業として、社会

松田町上水道の主な施設は、昭和50年代に整備されたものが多く経年劣化が進んでいるため、平成10年頃から県の地震対策支援事業を利用して、石綿管から鉄鉄管への敷設替えを行ったと聞いております。現在の下水道施設全体の更新状況は、どのようなようになっておりますか。

一方、水道使用料は県西地区2市5町の中で2番目から3番目に安いというので、多くの町民は恩恵を受けております。しかし、近年の上水道

福祉協議会と連携し、地域で1人暮らし高齢者の生活を支える基盤づくりを、町民参加をいただきながら進めたい。

事業会計の決算は、収益が減少傾向にあるため厳しい経営状況にあるようです。今後水道水を完全に安定して供給するために、町長の今後の施策についてお聞かせください。

生命維持の 水は第一!

回答 (町長)



上水道施設全体の更新状況は、宮下源地と中原水源地2ヶ所のポンプは更新済みである。配水池は4ヶ所ある中で、3ヶ所は新耐震基準で建設している。神山配水池は旧耐震基準の設計なので、耐震診断を行い対応していく。以上のとおり、施設全体の90%、また送配水管についても、96%が更新済みとなっている。

水道使用料収入は、人口減や節水等により減少傾向にあるため、無駄な支出を抑えることが第一と考え、今年度より漏水調査を実施している。施設の更新もコスト削減を図り、合理化に努めていく。しかし、安定した会計運営ができないと判断された場合には、使用料の見直しも検討し、町民のご理解を得たいが、そうならないためにも早急な人口増を図る対策を構築していきたい。